

# ひろがるごっこ遊び

R6.8月 自組

1人で遊んだり、友達の真似をしたりして、まよごとの世界を楽しんでいます。

## 4月の様子

「びきた?」



「ユッパにいれて…」



「ごはんできたよー!」



春頃は、身近な大人やテレビで見たものなどの真似をして、「へのつもり」「へのふり」をして、ごっこ遊びを楽しんでいた白組さん。積み木やブロックなどのおもちゃを日常で使うもの（携帯電話やメガネ、ゲーム機等）に見立てて遊ぶ姿が多く見られました。まよごとも大好きで4月からまよごヒューナーにはたくさんのおじもたちが集まっていました。



「ワインナーやくよ!!」

## 6月の様子

一人ひとり、イメージを持ちながら遊ぶようになってしまった6月。新しい

おもちゃとして、包丁とまな板を出してみると、たくさんの食材を切って楽しんでいました。集中して遊ぶ力も育てました。

保育者と一緒に遊ぶ中で新しいおもちゃの使い方を覚えていました。

「きるつけて…」「あってらい!」



おいしそうなご飯をパシャリ!



「チキン!」



まよごとの様子…



お昼寝time



一人遊びから、“誰かのために”という遊びが増えました。人形の赤ちゃんにご飯を作つめたり、寝かしつけをしてあげたり、お世話を楽しんでいます。

# 7～8月の様子

段々とままごとに興味が湧いてきた白組さん。今まで、あまりままごとをしなかった子も沢山の食材を使って遊びを広げていこうになりました。

ままごとの様子



/チョッキン！\



/できたよ!!\



/トントン…\



/ジャー ジャー\

\あーん!!\

\いはいはい！\

\このゆび\

\あかちゃん\

\...\

\おべんとう\

\できた！\

\パンダの\

\じはん！\



お世話遊びをする子どもが増えました

## お医者さんごっこ

お世話遊びから発展したお医者さんごっこ。最初は、保育者が医者役をしてエラーで遊んでいました。次第に、子どもたちがイメージを持つて

ごっこ遊びをするようになりました。

新しいおもちゃを出し、まずは保育者がやって見せると、子どもたちは、患者役を樂しけ、次に医者役と患者役に分かれて遊びました。

\どうかな…\

\こわくないよ\

\もしもしするよ\



がくすりを  
もら.で…

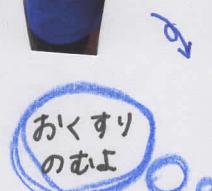


自分の経験を  
遊びに発展させ、  
人形のお世話を  
してあげる姿も  
見られました。

がけずと  
ませで…



あくすり  
のむよ



\に“くごく\



/いたくないよ!!\ /きこえる…\ /ここがいたいの…\

/かねつあるかな/

/しんじいた…/

/おくすりぬるね/



お医者さんごっこは8月になても  
続き、気付けばクラスのほとんどの  
子どもたちがお医者さんごっこに  
参加していました。

「こうえんでコケたの」

「チョコレートたべて  
おなかかいたいの」

「みみとあたまか  
いたいいたい」と

「かねつかいろの」



言葉の数が少しずつ増えて  
きたこともあり、一人ひとり病状を  
自分で考えて、医者役の保育者に  
伝えていました。

## お店屋さんごっこ

順番も上手に  
並んでいました！



ある子がお店屋さんを開いていたことをきっかけに、始まりたおもちゃ屋さん。  
「いらっしゃいませー！！」「じれが……ですか？」という明るい子どもたちの声で  
クラス内は活気に溢れていました!!



輪っかのおもちゃを  
お金に見立てて  
遊んでいる  
子どもも…

/どれにしようかな…/ /いらっしゃいませ!/ /これどうぞミ/

お出掛けや買い物など、日常であれた出来事ごっこ遊びに自然に取り入れ、  
知らないうちに自分たちで想像を膨らませていく自組さんです!!  
これからも子どもの遊びの広がりを楽しめます